

2. 分野別状況 (2) 地域活性化総合特区 ④ 観光・まちづくり分野

	総合評価 (ⅠとⅡとⅢを1:1:2の割合で計算)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
京都市地域活性化総合特区 (京都市、京都府)	4.1	4.3  進捗度 ・再来訪意向及び紹介意向 90%  ・特定伝統料理海外普及事業における外国人料理人の延べ受入れ人数 108%  等	4.2  規制の特例等 ・特定伝統料理海外普及事業等  財政支援等 ・総合特区支援利子補給金  地域独自の取組 ・京町家まちづくりファンド等	4	<p>・現行の評価指標1の「再来訪意向及び紹介意向」も重要な指標であるが、「京都観光振興計画2025」の観点である「市民生活と観光の調和」や「観光の質の向上」といった指標を重要視すべきである。</p> <p>・地域の観光に関わる全ての方々と共に、地域の文化や習慣を尊重して行動するなど京都が大切にしているものを受け継ぐための行動基準「京都観光モラル」を策定し、率先する事業者を表彰するなど、市民、観光客、観光事業者との共創で持続的な観光に資する活動は全国の模範となるもので、引き続き高い視座で臨んでいただくとともに、その活動について更なる発信に努めていただきたい。</p> <p>・指標については市の観光振興計画の中でかなり細かく設定がされていることから、その中から本特区事業の評価指標に取り入れていくことも検討していただきたい。特に、本特区事業の「“ほんもの”の魅力にふれる」「新しい観光の姿を提案」といった目標について、後述のような外国人料理人の受け入れ状況だけでなく、来街者が「文化的・精神的な充実感を感じているか」「従来と異なる新たな観光を体験し、満足しているか」という点について、成果検証があるとなお良いのではないかと期待したい。</p>